

～コミュニティ・スクールだより No.7～

氷川町小中学校コミュニティ・スクール連携協議会事務局

今年も、子どもたちの元気な声を、地域の皆さんに届けました！

三神宮秋季例祭について、まずは学ぼう！



宮原地区では、小学生が子ども会単位で子ども神輿をかつぎ、中学1・2年生が神輿や神幸行列の手伝い、3年生がポニー奉納を行い、三神宮秋季例祭に参画します。そのため、まずはCS委員が三神宮の成り立ちや地域の一員として祭りに参加する意味を、小学生や中学生、子ども会の育成者に講話をし、それぞれの立場で意欲を持って参画できるよう取り組みました。少子高齢化が進み、祭りの形も少しずつ変わってきており、子どもたちの地域行事への参画は、地域の活性化だけでなく、地域の担い手づくりにも繋がっています。

三神宮秋季例祭でのポニー奉納に向け、3回の実行委員会開催

毎年、氷川会・馬方・中学校の生徒会・教職員・保護者を交え、3回の実行委員会を開催し、秋季例祭まで準備を進めていきます。関わる全ての人を思いを一つにし、無事神幸行列に参画できるよう、それぞれの立場で準備を進め、協力します。



三神宮秋季例祭『ポニー奉納』に向けて、お祓いをしていただき、練習も頑張りました



9月29日(日)早朝、三神宮の宮司である廣松様に中学校に来ていただき、まずは、無事安全にポニー奉納ができるようお祓いをしてもらいました。その後、子どもたちは、ポニーを引く練習をしました。最初は恐る恐る手綱を握っていた子どもたちも、回を重ねるごとに声を出し、馬に歩調を合わせながら元気に駆け抜けていました。

生徒会長の繁村清士朗さんは、「伝統である三神宮秋季例祭で元気にポニーを引き、地域の人達に元気と感動を与えたい」と、しっかり決意を述べてくれました。



協力してタカンポ作り【10月4日(金)】



10月4日(金)には、タカンポの作り方を地域の先輩方に教えていただき作製しました。また、いつも大変お世話になっている氷川中学校近隣の方へ感謝の気持ちを届けるため、学校近辺のルートの下見も行いました。

中学3年生が、万全の体制で、心を一つに、10月13日(日)の本番を迎えます。

それぞれに頑張った三神宮秋季例祭本番【10月13日(日)】

心地よい秋晴れの下、10月13日(日)三神宮秋季例祭が行われました。このお祭りは、1161年(応保元年)から始まり、五穀豊穡の感謝祭として、獅子、神楽、神輿、甲冑武者、奴、神馬、子ども神輿、亀蛇などの神幸行列が行われます。宮原小学校の児童は、各地区の子ども会で神輿をかついだり、巫女や獅子舞の玉振り、その地区の役割である祭員などのお手伝いをしたりとそれぞれの立場で祭りに参加しました。氷川中学校の生徒は、3年生がポニー奉納、1、2年生が神輿や各地区のお手伝いとしてそれぞれの役割を持ち、祭りに参画しました。子どもたちの元気な掛け声があちらこちらから聞こえ、地域住民の方々からも、笑顔で応援していただきました。小学生も中学生も、暑い中、精一杯頑張り、やりきった様子で、地域に元気を届けてくれました。

